



玉・奥玉地区「小地域ケア会議」

# いきいき百歳体操を通じた見守り体制の構築



- ◇玉・奥玉地区：人口4447人、高齢化率44.6%（65歳以上）、24.9%（75歳以上）～平成25年5月1日現在～
- ◇市内で最も高齢化が進んだ玉・奥玉地区を対象に「小地域ケア会議」を設置し、地域の方々と行政・社協・包括の専門職と話し合いを重ねている。
- ◇地域の良いところや課題を検討した結果、高齢者の孤立・空き家が多い・集える場所がない・自治会組織の弱体化などの実態が明らかになった。
- ◇若い世代に頼れない実情の中で、高齢者が自立して暮らしていく為には、健康でお互いがつながりあい支えあっていくことが必要であるとの合意を得た。
- ◇自分たちのまちをどんなまちにしたいか、参加者自身で考え、5年後の目標を決定した。
- ◇1年目の取り組みとして、少人数で集まりやすく取り組みやすい百歳体操を通して、気にかける関係づくりをすすめることに決定した。

**5年後の目標：健康でみんなが楽しく集える場所がたくさんあるまち**



**隣近所での見守り体制の構築**



**目指すところ：早期発見・早期対応のしくみづくり**